

これまでに糖尿病・内分泌内科を受診された患者さんへ
【カルテ等の治療データの調査研究への使用のお願い】

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック糖尿病・内分泌内科では、大阪大学医学部附属病院と協力して、「骨ミネラル代謝異常の診療指針の策定に関する研究」という臨床研究を行っております。この研究は、今後の患者さんの生活の質の向上や診療の質の向上のために、新規治療法の有効性や有害事象を正しく評価することを主な目的としています。そのため、副甲状腺ホルモン（PTH）不足性副甲状腺機能低下症（二次性やマグネシウム補充により治癒する場合を除く）、偽性副甲状腺機能低下症、偽性偽性副甲状腺機能低下症、進行性骨異形成症（progressive osseous heteroplasia）、先端異骨症、FGF23 関連低リン血症（ビタミン D 抵抗性）くる病・骨軟化症、ビタミン D 依存性くる病・骨軟化症と診断された患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は社会医療法人宏潤会大同病院倫理審査委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

2019年1月6日 ～ 2024年5月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに次のような診断をされた患者さんのカルテ等の治療データです。

副甲状腺ホルモン（PTH）不足性副甲状腺機能低下症（二次性やマグネシウム補充により治癒する場合を除く）、偽性副甲状腺機能低下症、偽性偽性副甲状腺機能低下症、進行性骨異形成症（progressive osseous heteroplasia）、先端異骨症、FGF23 関連低リン血症（ビタミン D 抵抗性）くる病・骨軟化症、ビタミン D 依存性くる病・骨軟化症

○通常の診療において得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニックに帰属し、あなたには帰属しません。

○この調査研究は、厚生労働科学研究費補助金や日本骨代謝学会からの研究助成で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック 糖尿病・内分泌内科

研究責任者：寺島 康博

T E L : 052-611-6261(代)

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

